１． 資源のリユース・リサイクルを推進する事業

チャリティショップの運営

『ＷＥショップかながわ六角橋店』『ＷＥショップかながわ大口店』をスタッフ、ボランティアの参加で運営しました。市民から寄付された品物の地域内循環をすすめ、その収益で国内外の支援事業を行ないました。

『ＷＥショップかながわ六角橋店』
横浜市神奈川区西神奈川 3-16－1　プロスペリタ樋口１Ｆ
営業時間　週 6 日 10 時～16 時
定休日　日曜、祭日、第 1・3・5 木曜日

『ＷＥショップかながわ大口店』
横浜市神奈川区大口通 7-3 原橋ビル 1Ｆ
営業時間　週 5 日 10 時～16 時　水曜 12 時～16 時（4 月～8 月）
週 5 日 10 時～17 時　水曜 12 時～17 時（9 月～3 月）
定休日　日曜、祭日、木曜日

＊新型コロナウィルス感染予防対策として六角橋店は 16 時閉店時短営業を継続しました。

	【六角橋店】	【大口店】
寄付件数	2,296 件	918 件
顧客数	9,398 名	5,406 名
スタッフ	2 名	2 名
ボランティア	31 名	11 名
事業高	7,214,715 円	4,306,550 円
1 日平均売上	28,442 円	18,070 円

1）各ショップの活動

【六角橋店】
- 7 月、コロナ感染予防対策のため入場制限をしながら 23 周年記念セールを行いました。
- 11 月、クリスマスセールを行い周年セール同様に、コロナ対策をしてお客さまを迎えました。
- 1 月、六角橋中学校生徒 2 名の職業体験を受け入れていました。
- 2 月、WE21 ジャパン主催の「着物フェア」に参加しました。
- ３月、就労支援の方を受け入れました。
- 12 月と３月、陶器市を行いました。
- 今年度は「きものフェア」を開催しませんでした
- 店頭にて廃食油回収のＷＥ油田を、店内では不要携帯電話の回収を継続しています。
- グリーンダウンプロジェクトに参加し、羽毛製品の回収を継続しています。

【大口店】
- 毎月コロナ感染対策を行いながらハッピーデー等を開催しました。
- 7 月１、２日、入店の人数制限や消毒・マスク着用を徹底し、21 周年感謝セールを開催しました。お買い求めいただいたお客様に「わくわく感」を持っていただき、8 月の売り上げにもつながる金券のくじを発行しました。
- 新型コロナウイルスの影響で商店街夜店が中止になりました。

・11 月 28～30 日、コロナ対策を万全にしてクリスマスセールを開催しました。
・11 月から 1 月まで、就労支援の方を受け入れました。
・神奈川中学校生徒 2 名の職業体験もコロナの影響で中止となりました
・引き続き店頭にて廃食油回収のＷＥ油田に取り組みました。
・グリーンダウンプロジェクトに参加し、羽毛製品の回収に取り組みました。

(1)売上目標達成のためセールなどを企画し、実施しました。

	【六角橋店】	【大口店】
4 月		15(金)ハッピーデー（30,685 円）
5 月	25(水)～27(金)さわやかセール（263,170 円）	20(金)びっくりセール（32,605 円）
6 月		17(金)ハッピーデー　（40,975 円）
7 月	25(月)～27(水)23 周年セール（238,720 円）	1（金）2(土)21 周年感謝セール（80,100 円）
8 月		19(火)～23(土)15～16 時タイムセール
9 月		23(金)ハッピーデー（54,025 円）
10 月		5(月)～7(水)ハッピーデー（55,015 円）
11 月	24(木)～26(土)クリスマスセール(283,865 円)	18(火)ハッピーデー(58,430 円)
12 月		28(月)～30(水) クリスマスセール(201010 円)
1 月	6(金）＊初売り（133,000 円）	16(金)歳末出血サービス（131,750 円）
2 月		6(金)初売りセール（34,385 円）
3 月		17(金)18(土)ハッピーデー（82,950 円）

(2) 今年度はきものフェアを開催しませんでした。

【六角橋店】	中止
【大口店】	中止

2）ネット販売の活用はできませんでした。

3）資源の有効活用に取り組み、ファイバーや見切り品を活用しました。
活動の拠点を六角橋店におき、定例会や各講習会を企画しました。

(1) リメイクチーム（リライフ工房　布）
前年度はコロナ禍の為、毎月 1 回定例会開催はできませんでしたが、
メンバーの協力もあり定例会を毎月開催し、情報共有を行いました。

(2) リメイク講習を毎月 1 回(第 3 金曜日)に、布ぞうり講習を毎月 1 回（第 4 火曜日）に

実施を企画、計画していましたがコロナ感染予防のため今年度の実施を中止しました。
・リメイク講習：中止
・布ぞうり講習：中止

(3) ＷＥ21 ジャパン・グループ（以下ＷＥ21 グループ）で作るリメイク連絡会に毎年参加してきましたが、今年度もコロナ感染予防の為、例会が中止になり WE フェスタの開催も中止になりました。今までのような活動ができませんでしたが、2 月１、2 日の WE21 ジャパン主催の着物フェアにはリメイク品の展示販売に参加し成果を得ました。
・二日間の売り上げ　98,000 円

きものフェアができなかったためＷＥショップ以外の手作りショップで着物を必要としている方達に 1 着 1000 円から 2000 円で買ってもらう事も実施しこれからも続けて行きます。
・売り上げ　7 月 15 日　1,000 円×14 枚＝14,000 円
　　9 月 9 日　1,000 円×15 枚＝15,000 円
　　1 月 30 日　1,000 円×18 枚＝18,000 円

(4) 2022 年度リメイクチームへ３名の参加希望者がありましたが最終的には 1 名の参加となりました。
・リメイク品等総売り上げ　220 点　361,300 円

４）リサイクル（回収）の取組み

(1) 不要携帯電話の回収ボックスを六角橋店に常設し、携帯や小型家電製品に使用されている鉱物資源の回収を行い、資源の循環に取組みました。この金属の売却金はＷＥ21 ジャパンの環境活動に寄付されます。
（ＷＥ21 ジャパン回収 160 台：かながわ回収 18 台）

(2) 六角橋店、大口店は「ＷＥ油田」の回収ステーションとして家庭廃食油の回収を行いました。廃食油はバイオディーゼル燃料、肥料、石けん、キャンドルなどにリサイクルされています。

	回数	回収量（Kg）	CO2 削減量（Kg）
【六角橋店】	6	150	390
【大口店】	8	170	442
合計	14 回	320Kg	832Kg
参加ＷＥショップ 20 ショップ		3,530Kg	9,178Kg

５）グリーンダウンプロジェクトに参加し、羽毛製品の回収を行いました。

６）ＷＥ21 ジャパン、ＷＥ21 グループ等が開催する研修、イベント情報等に参加しました。
(1) WE21 ジャパン主催「サーキュラーコットン学習会」にオンライン参加しました。
（5 月 28 日　参加者 2 名）
(2) WE21 ジャパン 24 周年アニバーサリーイベントにオンライン参加しました。
（9 月 6 日　参加者 1 名）

(3) WE21 ジャパン主催「相続セミナー」にオンライン参加しました。
（10 月 1 日　参加者 1 名）
(4) WE21 ジャパン主催「着物フェア」に参加しました。　（2 月 1、2 日　参加者 6 名）
(5) WE フェスタはコロナ感染予防のため今年も中止になりました。
(6) WE21 ジャパン主催「森育ちのしょうがパウダーの生産地とつながる！フィリピン
オンラインスタディーツアー」に参加しました。　（2 月 23 日　参加者 1 名）
(7) WE21 ジャパンより横浜 NGO ネットワーク主催の「インボイス制度勉強会」にオンライ
参加しました。　（3 月 7 日　参加者 1 名）

7）かながわ 2 ショップ間で寄付品のトレード、広報等で連携しました。

8）両店ともに新しいボランティアが入りました。
2022 年度　六角橋店：実数 31 名（うち新規 4 名）、大口店：実数 11 名（うち新規 1 名）

9）『ＷＥショップかながわ六角橋店』『ＷＥショップかながわ大口店』に寄付されたリサイクル品の中で、見切り品やファイバーはエコものセンター（神奈川県綾瀬市小園 717-16）に移送後、ＷＥ21 ジャパンと契約関係にある故繊維業者(株)ナカノ（ファイバー)、(有）飯室商店（ガラス器)、木村管工（株）(陶磁器）と連携し、最後までリサイクルに責任をもちました。

【六角橋店】	167 袋	1,169Kg
【大口店】	102 袋	714Kg
合計	269 袋	1,883Kg

＊1 袋≒7 kg

10）ショップ連絡会（With）の定例会（月 1 回）は、新型コロナ感染拡大予防のため、今年度も中止となりました。

11）2021 年度末（2022 年 3 月）に申請した新型コロナウィルスに関連した助成金を 5 月に受け取りました。

＊緊急雇用助成金　2022 年 2 月休業分（神奈川労働局）91,494 円（5 月 27 日入金）

『ＷＥショップかながわ六角橋店』
【日時】通年（日曜･祭日・第 1・3・5 木曜日は除く）
【場所】横浜市神奈川区西神奈川 3-16-1
【従事者】理事 9 人、スタッフ 2 人、ボランティア 31 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】6,110,117 円
『ＷＥショップかながわ大口店』
【日時】通年（日曜･祭日・木曜日は除く）
【場所】横浜市神奈川区大口通 7-3
【従事者】理事 9 人、スタッフ 2 人、ボランティア 11 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】3,788,059 円

２．アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

１）コロナ感染症の終息とはなりませんでしたが、世界中で規制も緩和され日常生活が戻りつつある中、継続して支援を行いました。東日本大震災（2011.3.11.）支援は今年も福島の放射能から身を守る活動に支援しました。また、緊急募金として東北地方大雨災害、トルコ・シリア大地震災害への支援を行いました。

2022年度海外・国内支援助成金　総額　543,722円

≪助成金・寄付金327,310円　　募金　216,412円≫

＊海外支援・助成金　293,060円　　≪助成金・寄付金 112,600円　募金 180,460円≫

支援先・支援国		プロジェクト名	金額
幼い難民を考える会（CYR）	カンボジア	幼稚園事業	42,600円
		「村の幼稚園」保育者の給与手当助成	50,000円
		給食募金	10,000円
日本国際ボランティアセンター　（JVC）	アフガニスタン	＜みらい貯金箱募金＞識字アクション	33,000円
日本イラク医療支援ネットワーク（JIM-NET）	イラク	＜チョコ募金＞イラク医療支援・シリア難民・福島子どもたちの支援	137,460円
WE21ジャパン	フィルピン	しょうがパウダー運送費	20,000円

＊東日本復興支援金　207,815円　　≪寄付金 194,710円　　募金 13,105円≫

支援先	県名	プロジェクト名	金額
いわき放射能市民測定室たらちね	福島	＜3.11をわすれない＞たらちね検診センター	94,710円
		店頭募金	13,105円
		たらちね健診センター	100,000円

＊緊急募金・支援　　42,847 円　　≪寄付金 20,000 円　募金 22,847 円≫

支援先	国名	プロジェクト名	金額
東北地方大雨災害支援	日本	中央共同募金会	2,010 円
トルコ・シリア地震緊急支援	シリア	チームベコ店頭募金	20,837 円
〃	シリア	チームベコ 地震被災での医療費支援	20,000 円

２）今年度も支援先視察は行われませんでした。

３）各支援連絡会、報告会等に実会場あるいはオンラインで参加し、ＷＥ21 グループ、地域 NPO との連携を図りました。

(1) ＢＧＡ

今年度会議は、県サポで行い（12 月 6 日、1 月 17 日）メールで意見交換、集約、情報共有を行いました。

また、現地視察の為に残しておいた残金を、視察が実行できる目途がたたないため、2019 年度に支援金を拠出した地域に金額の按分をして返金されました。

(2) アフガニスタン支援連絡会

JVC（日本国際ボランティアセンター）との 2 年間（2021 年度～2022 年度）の業務委託期間が終わり、タリバン政権下でも識字教育プログラムを進めている現地活動団体（YVO）に対し JVC を通さずに支援連絡会独自で支援継続できるかどうかの議論が進められましたが、2022 年度末で結論は得られずに 2023 年度に持ち越されました。

かながわのみらい貯金箱の合計 33,000 円（回収：15 人+店頭募金）でしたが、支援金を検討する段階までには至りませんでした。

アフガニスタン支援連絡会は、下記の日程で 2022 年度は 5 回ありました。

①5 月 25 日（水）② 6 月 17 日（金）③ 2023 年 1 月 27 日（金）
④ 2 月 27 日（月）⑤ 3 月 24 日（金）
すべてがオンライン会議でした。

＊支援連絡会全体では、支援金 583,275 円、みらい貯金 113,256 円支援合計 696,531 円
＊JVC 委託業務料　1 地域 NPO　12,500 円を負担

(3) 森育ちのしょうがパウダー

森育ちのしょうがパウダーを使った「しょうがクッキー」を WE２１ジャパンのフェアトレード品としてショップで販売しました。又 3 年ぶりに開催された「みんな DE まつり」で、しょうがパウダー、クッキーの販売を行いました。

４）フェアトレード品の取り組みを通して、フェアトレードへの理解を深め、現地の人々の生活向上支援に協力しました。

（＊フェアトレード品取組み総額　368,580 円）

(1) 六角橋店では、ネパールのコーヒー、紅茶、カレー、ハーブティーを取り組みました。

（コーヒー、紅茶・カレースパイス・ハーブティー　326 点 163,012 円）

(2) ＷＥ21 ジャパンが輸入元となっているフィリピンの「森育ちのしょうがパウダー」を取り組みました。その収益は住民組織の基金と個人の収入、鍼灸の鍼代等に当てられ、コロナ禍での大切な収入源となりました。
（森育ちのしょうがパウダー　97 本　78,473 円）

(3) パレスチナ難民女性の経済自助活動をしている「アシーラ女性組合」が作るオリーブ石鹸はパレスチナの伝統技法によって作られてきましたが、地球温暖化の影響でオリーブの実の収穫が減少。そのため価格が高騰し、仕入れが難しくなりました。その上、コロナ蔓延のため仕事場にも行けず、止む無く,2020 年に組合を解散しました。在庫がなくなり次第、取り組みも終了となります。

(4) ピープルツリーのチョコに取り組みました。　（チョコ 110 個　29,935 円）

(5) WE21 ジャパンの「森育ちのしょうがパウダー」を使った、しょうがクッキーに取り組みました。　（しょうがクッキー　50 個　17,250 円）

(6) 国連ウイメン日本協会よこはまの商品を 6 月から 3 月末までの期間、委託販売として取り組みました。　（バッグ・マフラー・スカーフ・小物雑貨　80 点　79,910 円）

５）キャンペーン等に取組み、支援先の現状を伝えました。

(1) 貧困なくそうキャンペーンに取組み、10 月 15 日の売り上げ（衣料、雑貨）と、10 月 1 日～17 日の店頭募金を「幼い難民を考える会」（ＣＹＲ）に寄付をし、カンボジアの貧困の現状について理解を
深めました。
■寄付 52,600 円（寄付金 42,600 円　店頭募金 10,000 円）

(2)「日本イラク医療支援ネットワーク」(JIM-NET)主催の「チョコ募金」キャンペーンに取組み、チョコレート缶 240 個を 550 円以上寄付して下さった方にプレゼント。絵柄の付いたチョコ缶をとおし、小児がんの子どもたちの事を伝えました。本年度は 1 月７日からスタートしました。
■寄付　137,460 円（チョコ募金 132,000 円　店頭募金　5,460 円）

(3)「３．11 をわすれない」に取組み、3 月 10 日、11 日両日、六角橋店、大口店の売上をいわき放射能市民測定室「たらちね」の活動、運営に寄付しました。お客様と福島の現状を考える一日となりました。
■寄付　207,815 円（寄付金金 194,710 円　店頭募金　13,105 円）

＊3.11 企画として WE 講座を青葉・こうほく共催「未来へ向かって」
（福島第 1 原発事故から 12 年）にオンライン参加しました。

６）今年度は新たな支援先や支援の方法は、ありませんでした。

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事９名、スタッフ５人（事務局スタッフ１名を含む）　ボランティア 42 人
【受益対象者】福島の市民、アジア等の市民（フィリピン、カンボジア、アフガニスタン、イラク、シリア、パレスチナ、ネパール）
【支出額】1,015,877 円

３、地域の市民の国際的な意義の自覚を促進する事業

支援活動を推進するため、アジア地域の人々の自立支援に携わっている人や現地で活動している人を講師とし「ＷＥ講座（報告会、学習会)」を行いました。
1 月に六角橋店ボランティアミーティングにて JIM-NET のチョコ募金 DVD を鑑賞し、現地の様子やチョコ募金について学びました。
2 月に他地域と共催で、オンラインでの WE 講座を開催しました。
（青葉主催、こうほく、かながわ共催　参加者 50 名）

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事 9 名、スタッフ 5 人、 ボランティア 42 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】2,100 円

４．この法人の事業の広報普及を図る事業

ＷＥ21 かながわの活動を広めるために、次のとおり情報の受発信をしました。
今年度は新たに福祉クラブへニュース配布や、生活クラブ神奈川コモンズ大会にて、ニュースを配布するなど新たな配布方法も増やしました。また、神奈川大学生とコラボ企画をして大学内食堂に広報のための案内を掲示してもらいました。

１）「ＷＥ21 ジャパンかながわニュース」は年 2 回発行し、発行枚数は 2,600 枚です。
・NO.67 号　2,000 枚： 6 月発行（生活クラブと福祉クラブへの折り込み）
・NO.68 号　　600 枚： 2 月発行（神奈川コモンズ大会での配布）

２）チラシの作成、ホームページ等への掲載
(1) セールやコロナ対策をお願いする寄付品募集などのミニチラシを作製し、店内配布や掲示をしました。
■総合計　　960 枚

〈六角橋店〉 750 枚	7 月 23 周年セールチラシ	200 枚
	11 月クリスマスセールチラシ	300 枚
	12 月年末・初売りミニチラシ	250 枚
＜大口店＞ 210 枚	7 月 21 周年セールチラシ	80 枚
	11 月クリスマスセールチラシ	50 枚
	12 月年末・初売りミニチラシ	80 枚

(2)かながわのホームページのショップブログやお知らせ、活動レポートをタイムリーに更新しました。

３）支援先のパネルやポスター、チラシ、リーフレットなどを使い、ショップ内の広報に活用しました。

４）会員に対し、「ＷＥ21 ジャパンかながわだより」を発行しました。

５）タウンニュースに広告を載せ、広く地域に周知し、取材を通じて沢山の記事が掲載(＊)されました。

・「新年のごあいさつ」欄に広告を載せました。　　(1 月 1 日元旦号)
・「暑中見舞い」欄に広告を載せました。　　(8 月 4 日号)

＊国連ウィメン日本協会よこはまの販売協力の記事が掲載されました。(7 月 28 日号)
＊チョコレート募金の記事が掲載されました。(1 月 12 日号)
＊WE 講座「未来に向かって」の記事が掲載されました。(1 月 26 日号)
＊3.11 を忘れない企画の記事が掲載されました (3 月 9 日号)

６）神奈川区区民活動支援センターだより（8・9 月号）に区内の活動団体として
紹介されました。

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事 9 名、スタッフ 5 人、ボランティア 42 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】18,983 円

５．その他、第 3 条の目的達成に必要な事業

１）平和な社会の構築に向けての活動
WE21 ジャパンのビジョンにのっとり（P2 参照）2022 年 2 月のロシアのウクライナへの
侵攻反対を表明する為、両ショップに侵攻反対のポスターの掲示を続けました。

２）多文化共生の地域づくり
(1)「神奈川区に多文化共生をすすめる会」に団体として参加しています。
(12 月に NPO 法人神奈川区多文化共生の会に変更)

３）他団体及び地域との連携
(1) コミュニティオプティマム福祉マネージメント・ユニットかながわ（以下ユニットかながわ）に参加し、神奈川区内の生活クラブ運動グループとの連携を図りました。
また、3 年ぶりに「みんな DE まつり」が開催され、フェアトレード品の販売や
WE21 ジャパンかながわのアピールに努めました。
(2) 神奈川区 区民活動支援センター主催「市民活動者のための SDG s 入門～わたしたちにできることを考えよう」の学習会に参加し、意見を交わしました。(2 月 27 日)
(3) ユニットかながわを通じて、「横浜市に対する市民政策提案」と「2023 年度予算に向けた横浜市の地域福祉施策に関する提案書」の賛同団体になりました。
(4) ユニットかながわの「市民が政策をつくり・動かす」をテーマの学習会に参加しました。
(5) 横浜市神奈川区社会福祉協議会に登録し、ボランティア保険加入、会議室利用と活用しました。
(6) NPO 法人神奈川区多文化共生の会の紹介により、PAL システムの衣料交換会に参加し、衣類の寄付を頂きました。
(7) NPO 法人神奈川区多文化共生の会の紹介により、横浜子育て家庭応援事業「ハマハグ」に登録しました。
(8) 国連ウィメン日本協会よこはまのショップ休業に伴い、WE ショップかながわで
6 月から 3 月まで委託販売を行いました。
また、「みんな DE まつり」でも WE21 かながわのブースで販売と地域にアピールを行いました。

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事９名、スタッフ５人、 ボランティア 42 人

【受益対象者】一般市民
【支出額】0 円

６．組織活動

１）会員目標は 45 名でしたが、48 名に増員できました。

２）理事会
(1) 今年度も事業活動の遂行に対し、責任を持って活動しました。
(2) ショップスタッフとともに、ショップ間の連携を図り業務運営の充実を図りました。
(3) 理事会を毎月１回以上開催しました。
(4) 議長を理事が担いました。

３）事務局
(1) 事務局作業をはじめ、スタッフ間の打合せや作業に事務所が活用されました。
(2) 2026 年１月認定 NPO 法人更新に向け、常時資料の整理を行いました。
(3) 2023 年１月指定 NPO 法人更新を行いました。

４）ショップスタッフミーティング
(1) 随時開催し、各ショップの課題解決に取組み、理事会への提案などショップの連携を図りました。
(2) 理事会へ提案し、理事会で決定したことを実現しました。
(3) ＷＥ21 グループにおける物流ルールを共有しました。

５）リメイクチーム（リライフ工房　布）
毎月１回定例会を開催することができました。
しかし、コロナ感染予防のためリメイク講習会、布ぞおり講習会、その他の講座企画はできませんでした。

６）ボランティアミーティング
多くのボランティアの参加がありました。活発な意見を頂き、活動の理解を深め、ショップ運営を円滑に行うことが出来ました。理事会での方針をボランティアと共有しました。

７）ＷＥ21 ジャパン、ＷＥ21 グループとの連携
メーリングリスト等を使って、情報の共有を行いました。

８）ＷＥ21 ジャパン、ＷＥ21 グループ等の会議、研修、講座、イベント等へ参加し、運営に役立てました。
(1) グループ会議に参加し、組織運営に役立てました。
(2) WE21 ジャパン総会記念講演「サーキュラーエコノミー～世界の最新事例から考える、循環する地球の未来～」にオンライン参加しました。　（5 月 28 日　参加者 2 名）
(3) CYR 主催「世界難民の日　記念公演」に参加しました。　（6 月 19 日　参加者 5 名）
(4) WE21 ジャパン 24 周年アニバーサリーイベントにオンライン参加しました。（9 月 6 日　参加者 1 名）
(5) WE21 ジャパン主催「相続セミナー」にオンライン参加しました。（10 月 1 日　参加者 1 名）
(6) WE21 ジャパン主催「新ホームページ説明会」オンライン参加しました。（10 月 27 日　参加者 1 名）
(7) WE21 ジャパン主催「広報研修会」オンライン参加しました。（11 月 24 日　参加者 1 名）
(8) WE21 ジャパン主催「着物フェア」に参加しました。　（2 月１、2 日　参加者 6 名）

(9) BGA 会議に参加しました。(1 月 17 日　参加者 1 名)
(10) WE21 ジャパン青葉主催 WE オンライン講座「未来に向かって」いわき放射能市民測定室事務局長木村亜衣さん報告と講演に共催として参加しました。(2 月 18 日参加者 13 名)
(11) WE21 ジャパン主催「しょうがパウダースタディツアー」にオンライン参加しました。
(2 月 23 日　参加者 1 名)
(12) WE21 ジャパンより横浜 NGO ネットワーク主催の「インボイス制度勉強会」にオンライン参加しました。(3 月 7 日　参加者 1 名)

9）就労支援は大口店 1 月 1 名、六角橋店 3 月 1 名をそれぞれ受け入れました。

10）インターンシップは神奈川大学経済学部 2 年生 2 名を 10 月に受け入れました。

11）地域の中学生職業体験は六角橋店で 1 月 2 名を受け入れました。

【日時】通年
【場所】横浜市神奈川区
【従事者】理事 9 名、スタッフ 5 人、 ボランティア 42 人
【受益対象者】一般市民
【支出額】430,992 円

７．その他

「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」(イオン東神奈川店) に登録することで、WE21 ジャパンかながわの支援 BOX に入れられた黄色いレシートのお買物合計金額の 1%がギフトカードで贈呈され、消耗品等の購入に活用しました。
(贈呈金額　13,700 円)